



さいほく

No.160

発行 犀北団地公民館
 発行人 丸山 克彦
 編集 齊藤 要一
 印刷 榎丸山印刷

犀北団地 どんど焼き

1月12日に恒例行事となる、どんど焼きが行われました。

今年 は点火前に、長野市吉田地区の「押鐘神楽保存会」の方をお招きして、獅子舞が披露されました。邪気を払うように頭を振り、祈りを込めた舞が続いたあと、獅子に頭を噛んでもらい、無病息災



を祈願する方の姿も見られ、新年らしい華やいだ雰囲気になりました。当日は大人から子どもまで多くの方が集まり、皆さんが焚き火で暖を取りながら、和やかに燃え上がる炎を見守りました。前日には大雪となり、準備には大変な苦労があ

りましたが、役員の方々の皆さんの尽力により無事に開催することができました。幸い当日は青空が広がる好天に恵まれたものの、雪解けで足元が悪い中での実施となりました。

点火の瞬間には勢いよく火柱が立ち上り、参加者からは驚きと歓声が上がりました。地域の皆さんが一体となってお正月気分を満喫できる、温かい行事となりました。



防災訓練



どんど焼きの前に行われた防災訓練には、育成会の親子や福寿会の皆さんをはじめ、30人を超える住民が参加しました

長野中央消防署・安茂里分署員から「命を守る10のポイント」についての講話を受け、日頃の備えを見直す機会となりました。

携帯電話を使った119番通報訓練や火災報知機の取扱い説明も行われ、最後は屋外で初期消火訓練に取り組み、実践的な学びが深まりました。



7月19日に恒例の夏祭りが開催され、地域の皆さんが集いにぎやかな一日となりました。

夕暮れ時に始まった盆踊りは、安茂里甚句と炭坑節を踊り、輪の中心には笑顔が広がり、ゆったりとした時間が流れました。続いて初企画となるアマチュアバンドの演奏がステージを盛り上げ、会場には手拍子が響きました。



今年さらさらキッチンカーも初登場し、焼きたてのピザが大好評。香ばしい匂いに誘われ、多くの来場者が列を作りました。

夜のクライマックスを飾った花火では、特に最後のナイアガラが大きな歓声を呼び、夏の夜空を華やかに彩りました。

恒例の抽選くじはなかなか当たりに出ず、皆さん少し残念そうな表情も見られましたが、終始和やかな雰囲気の中、地域のつながりを感じられる温かな祭りとなりました。



子供みこし

夏祭りの日中は、恒例となっている小学生による子供神輿が元気に町内を練り歩きました。

夏の日差しが照りつける中、子供たちは額に汗をにじませながらも、「ワッショイ！」と威勢のよい掛け声を響かせ、一生懸命に神輿を曳いて進みます。沿道からは保護者や地域の方々が温かい声援を送り、子供たちの力強い姿に笑顔が広がりました。



暑さの厳しい一日でしたが、最後まで頑張り抜いた子供たちの姿はとても頼もしく、地域に元気を届けてくれるひとときとなりました。



敬老の日

敬老の日に合わせ、今年75歳以上の希望者の皆さんへ記念品を贈呈しました。贈呈品は、お菓子と非常食用のパンのいずれかを選べる形とし、多くの方に喜んでいただけました。

長年にわたり地域を支えてくださった皆さんへの感謝の気持ちを含めて、心ばかりの品をお届けしました。これからも健康で穏やかな日々を過ごしていただけるよう、地域一同で見守っていききたいと思います。



秋祭り



今年の秋祭りは、これまでの形式から一転し、新しい企画を数多く取り入れた意欲的な内容となりました。

10月19日の当日は参加者がやや少なく残念ではありましたが、来場された皆さんからは「楽しかった」「満足した」といった声が多く聞かれ、温かな雰囲気になりました。



会場では、地元企業の皆さんから提供いただいたお裾分けの品が

配布され、思わぬプレゼントに笑顔が広がりました。

子供向けのバルーンアートでは、子供たちはもちろん、大人も一緒になって風船のおもちゃ作りに挑戦し、会場は終始にぎやか。さらに、アマチュア落語家さんによる寄席では、軽妙な語り口に笑い声が絶えませんでした。締めくくりに太鼓演奏は迫力満点で、公民館の建物が震えるほどの力強さ。

新しい試みが詰まった秋祭りは、参加者の心にしつかりと残る一日となりました。



交通安全教室・あいさつ運動



地域では、子供たちの安全を守る取り組みとして、交通安全教室とあいさつ運動を実施しました。

交通安全教室では講師の方をお招きし、信号機の見方や道路標識の意味などを、子供たちにも分かりやすく説明していただきました。子供たちは真剣な表情で耳を傾け、交通ルールの大切さをしっかりと学んでいました。

一方、あいさつ運動では自治会や福寿会の方が横断歩道に立

ち、登校する子供たちへ声をかけながら、安全な通学を見守りました。子供たちから返ってくる元気な「おはようございます！」に、大人たちも自然と笑顔に。

地域全体で子供たちを支える温かな取り組みとなりました。



一年を振り返って

犀北団地自治会長 小池 正志

令和7年度は、自治会の役員体制を大幅に縮小して取り組んだ一年でしたが、組長の皆さまのご協力ご尽力により運営をすることができました。

一斉清掃に係わる取組みは、組長の皆さんからの実施状況やアンケート報告をまとめ、11月の臨時組長会議で、清掃作業軽減のため除草剤散布と自走式草刈り機の購入・導入やボランティアによる助け合い組織を作って対応していくことを提案しました。また、本年度は環境部を中心に中央遊園地植栽の水くれを4カ月間担っていただき環境美化に努めました。

安茂里住民自治協議会は、犀北団地自治会をはじめ18地区の集まりです。毎月開催された安茂里地区・区長会や役員会では、各地区ともに人口減少と高齢化の中で取り組んでおり、先駆的な事例に学びながらの一年でした。

自治会は、住民による自主的な活動ですが、地域の環境美化活動や公民館活動には、住民の皆様の参加・協力が不可欠です。引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。



犀北団地公民館長 丸山 克彦

今年度より、自治会組織の大幅な改正が行われまして、公民館と組長の兼務、イベント部／広報部の2部体制、公民館運営審議会の廃止をいたしました。新体制でのスタートになりました。

年度当初に公民館役員（組長）の皆様へ宣言いたしましたのは、「新たな企画で住民の皆様方や自分達がやって楽しいものになりたい」と表明いたしました。

①「夏祭り」では、地元商店会さんや他の地区のイベント成功事例などを参考にし、よき見本としてまいりました。新企画で「ロック演奏」や「キッチンカー」の誘

致、座ってゆったりできる「ゴザ席」の新設（副館長アイデア）などを行いました。斬新な企画でよかったなど好評価をいただきました。

②「敬老の日」では、対象者の年齢を70歳から75歳以上に改定させていただきました。

記念品は「お菓子」と「長期保存パン」（自治会より提案）の二種類から選ぶ事ができるようにいたしました。

③「秋祭り」は3団体による演目開催と地元「栄心堂」さんによる団子販売、公民館による物販、地元食品会社3社による、食品の協賛品の無償提供をいただき参加者の皆様に配布いたしました。演目の内容が良かったといただきました。ただ、期待に反して参加者が

大変少なかったのが残念でした。④「どんど焼き」では新春にふさわしい「獅子舞い」を呼びました。館報「さいほく」も年3回から2回の発行にして、役員の負担軽減と経費削減を行いました。

物価高で諸経費が上がった中におきましても、企業からの協力やパフォーマンス団体の協力を賜りまして、経費の上昇をできるだけ抑えながら、かつ役員の負担も増やさないよう配慮しつつ、内容の充実を図るよう努めてまいりました。

一年間、住民の皆様・自治会様・福寿会様・育成会様・ボランティア様・公民館役員（組長）皆様のご理解ご協力のもと、無事4大イベントを遂行する事ができましたこと感謝申し上げます。



館報に掲載してほつたものがございましたら、公民館役員までご一報ください。